

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年02月04日

計画の名称	三河安城マチナカ協創地区都市再生整備計画											
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	安城市											
計画の目標	<p>平成30年度に策定した第三次安城市都市計画マスタープランに基づき、本市の広域拠点であり西三河の地域拠点と位置付ける三河安城駅周辺を中心に、「市民とともにづくり・つかう協創のまちづくり」の実践を目標とし、</p> <p>公民が協創（お互いに協力しながら、まちやまのついかい方を創ること）しながら第三次安城市都市計画マスタープランの目標である「みんなでまちをつかう！市民とともに育む持続可能な都市づくり」の実現を目指す。</p> <p>（つかう）パブリックスペースの活用をきっかけとした、民間まちづくり活動と連携（協創）による「心地よくまちをつかい続けられる」しくみの形成を実現する。</p> <p>（つくる）ミクストスペースの活用をきっかけとした、ステークホルダーとの連携（協創）による「心地よくまちをつかい続けられる」空間の形成を実現する。</p> <p>（集まる）マチナカプレイスメイキングの活用をきっかけとした、民間まちづくり活動とステークホルダーとの連携による「居心地よく滞在できる」マチナカの形成を実現する。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	569	A	569	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3		R7
1	（つかう）公共空間等を活用した、まちをつかう！プロジェクト数（回/年） （つかう）公共空間等を活用した、まちをつかう！プロジェクト数 都市再生整備計画区域内の公共空間等での、まちをつかう民間活動（社会実験含む。以下同様）の実施回数	5回/年	回/年	48回/年
2	（つくる）つかってつくる！リノベーションエリア（%） （つくる）つかってつくる！リノベーションエリア 都市再生整備計画区域内の公共空間等の内、まちをつかう民間活動によってリノベーションした公共空間の割合	0%	%	17%
3	（集まる）まちをつかう！オーディエンス獲得数（人/年） （集まる）まちをつかう！オーディエンス獲得数 都市再生整備計画区域内のまちをつかう民間活動時に収集する、実験で提供したサービスを受けた人数（イベントの参加者も含む）	290人/年	人/年	4800人/年
4	（つかうの波及）まちをつかう！プレイヤー数（団体） （つかうの波及）まちをつかう！プレイヤー数（団体） マチナカプレイスメイキング制度等を活用して、まちをつかう民間活動を行う民間団体数	4団体	団体	10団体

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

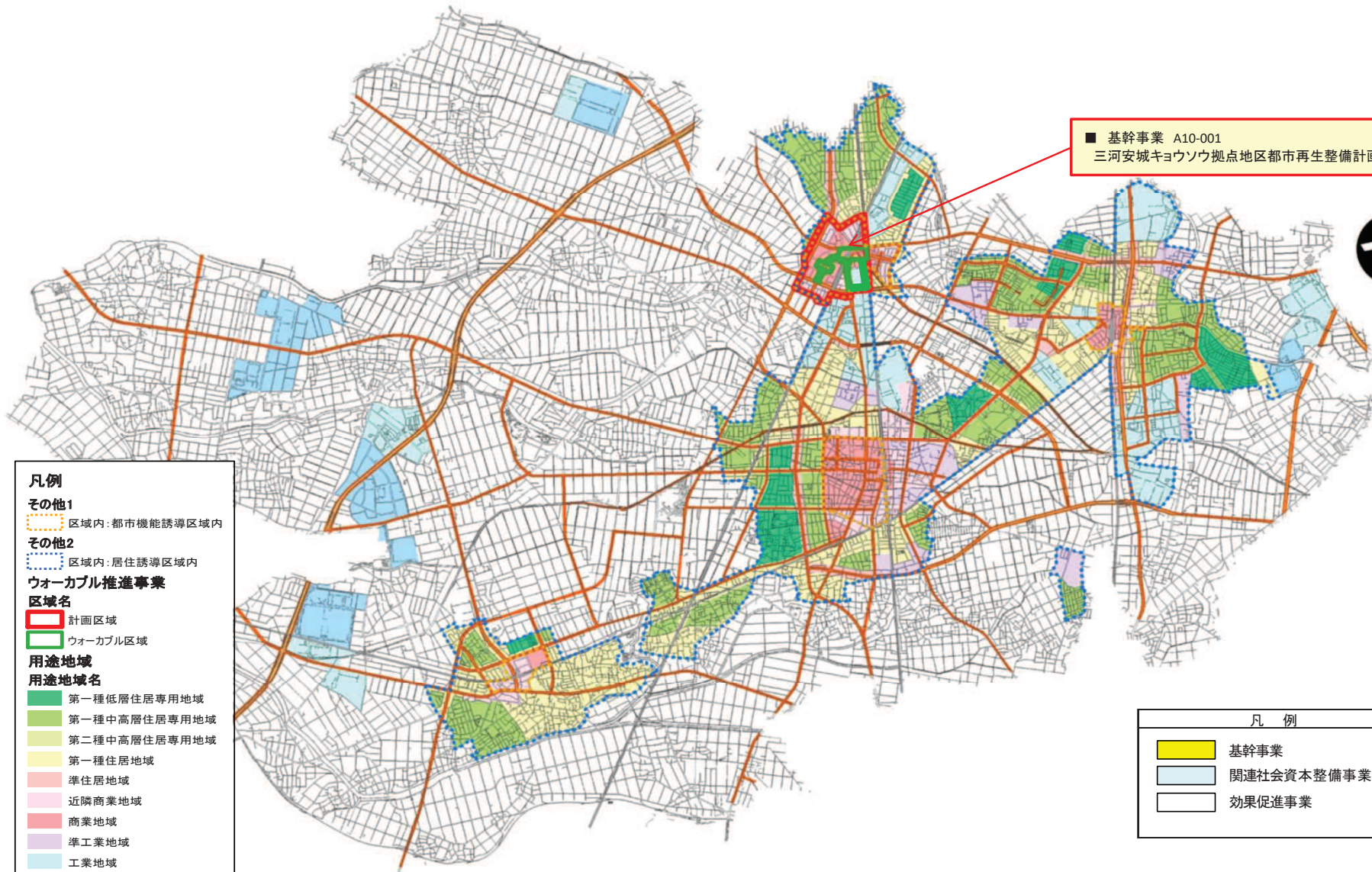
A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	安城市	直接	安城市	-	-	三河安城マチナカ協創地区都市再生整備計画	三河安城マチナカ協創地区 A=57ha	安城市						569	-		
												小計						569		
											合計						569			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	7	19	17		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	7	19	17		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	7	19	17		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	三河安城マチナカ協創地区都市再生整備計画		
計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度 (5年間)	交付対象	安城市



■ 基幹事業 A10-001
三河安城キョウソウ拠点地区都市再生整備計画



- 凡例**
- その他1**
 区域内:都市機能誘導区域内
- その他2**
 区域内:居住誘導区域内
- ウォークابل推進事業**
- 区域名**
 計画区域
 ウォークابل区域
- 用途地域**
- 用途地域名**
- 第一種低層住居専用地域
 - 第一種中高層住居専用地域
 - 第二種中高層住居専用地域
 - 第一種住居地域
 - 準住居地域
 - 近隣商業地域
 - 商業地域
 - 準工業地域
 - 工業地域
 - 工業専用地域

- 凡例
- 基幹事業
 - 関連社会資本整備事業
 - 効果促進事業

0 500 1,000 2,000 3,000 4,000 5,000
メートル

社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称:三河安城マチナカ協創地区都市再生整備計画 事業主体名:安城市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○